

# はむら 市議会だより

No. 67

(通巻No. 176)

平成18年8月15日発行

羽村市議会

〒205-8601

東京都羽村市

緑ヶ丘5丁目2番地1

☎ 042(555)1111

ホームページアドレス

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



「カキーン！」(平成18年度第42回少年少女球技大会にて)

第2回(6月)定例会

一般質問	市政を問う(15人の議員が一般質問).....	2ページ
市長提出議案	羽村市公共下水道事業に関する業務委託契約についてなど 11件を可決.....	13ページ
陳情	2件の陳情を審議.....	13ページ
議員提出議案	意見書1件と決議1件を可決.....	14ページ

# 市政を問う

平成18年第2回羽村市議会(定例会)を、6月8日から23日までの16日間の会期で開きました。

開会初日には市長から、市政についての所信表明がありました。

6月8日、9日、12日には、15人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。また、提出された市長提出議案11件と議員提出議案2件を可決したほか、2件の陳情を審議しました。

※質問・答弁については、内容を要約して掲載しています。

## 議会日程

平成18年第2回

羽村市議会(定例会)

《5月》

23日 正副議長・議会運営

委員長・理事者会議

31日 第3回議会運営委員会

《6月》

8日 本会議(初日)

9日 本会議(2日目)

第2回総務委員会

第3回厚生委員会

12日 本会議(3日目)

14日 第3回経済委員会

19日 第4回議会運営委員会

23日 本会議(最終日)

### 「親教育プログラム」の活用について

親が親として育つのを支援する力  
ナタから導入されたプログラムが数  
市で活用されている。

質問 都市化や核家族化が進み子育てに不安感や負担感を持つ人が増えている。親になる自信をつけ、子育てに喜びを感じられるように、「親教

育プログラム」についての講演会を行なうてはどうか。

市長 現在、子ども家庭支援センターにおいて、子育ての負担感や不安感の解消に努めているが、子育ての孤立化や育児不安を抱えている親の中には、人とのかわりが苦手で、呼びかけに応じていただけられない方も

### 少子化対策について

子育て支援に係る各種施策、事業を推進し、子ども達が健やかに育成される環境づくりが必要であると考え、所信を伺う。

質問 仕事と子育ての両立から保育サービスが必要と考えるが、認可保育園の待機児童数は何人か。また、

今後の見通しは。

市長 待機児童数は27人、現在の定員を150人に拡大し34人の増員を図るほか、今後の保育需要を見込んだ計画を策定する。

質問 乳幼児医療費助成事業の所得制限が撤廃されることになったが、その対象世帯と人数は。



いる。地域での見守りや、関係機関との連携を図っていくほか、「親教育プログラム」も視点に入れて、効果的な支援の手法を検討していきたい。

**食育月間の取組みについて**

**質問** 「朝食の欠食」割合と具体的な対策、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）改善への取組みについて。

**市長** 平成11年度西多摩保健所で実施した栄養調査結果では、「ほとんど食べない」が、20代男性35・7％。30代男性27・3％。平成15年度に武蔵野小・栄小・富士見小の5年生では、7・5％。平成17年度全保育園の5歳児では、2％となっている。広報はむら、健康フェア等の機会を通して、規則正しい食生活により生活習慣病を予防することの必要性について普及啓発を図っていく。

内臓脂肪症候群については、「血液サラサラ健康はむら」の講演会を5月に行ない意識喚起に努めた。今後も、健康フェアや健康料理講習会などの様々な事業の機会を通じて、内臓脂肪症候群に対する意識啓発を図っていく。



▲子どもに小動物を見せているお父さん(動物公園)

- ◇ 「親教育プログラム」の活用について
- ◇ 「妊産婦にやさしい環境づくり」の推進について
- ◇ 食育月間の取組みについて

くわばら  
**桑原**  
とし  
**寿**  
議員

**市長** 315世帯、388人である。  
**質問** 子育て家庭に対する地域での支援について。

**市長** 地域子育て支援センター事業、子育て親子の交流や集いの場の提供を行っている。今後も、子育てへの不安や負担感の解消、育児支援に努めていく。

**児童・生徒の安全対策について**

**質問** 通学路の安全確保は。

**教育長** 各学校区ごとに登下校時に幹線道路や交通量の多い個所で安全誘導等を行っている。

**質問** 通学路の安全マップ作成が効果的と聞かが市の対応は。

**教育長** 全小学校で作成した。児童生徒が自ら危険予測能力を身につけるよう指導している。

**質問** 当市では、問題行動や不審者等の情報は寄せられているか。また、犯罪から児童を守るための対策について。  
**教育長** 不審者の目撃情報が

入ると関係部署に連絡するほか、緊急告知情報システムの活用を図っている。

**質問** 学校周辺の巡回や登下校時の見守り活動が必要と考えるが、定年退職者、PTA等による組織づくりの考えはあるか。

**教育長** 全学校に「学校安全ボランティア連絡会」を設置し、学校、PTA等と連携し、子どもの安全確保に努めていきたい。



▲身を守るためのさまざまな学習をしています(栄小)

- ◇ 少子化対策について
- ◇ 児童・生徒の安全対策について

あきやま  
**秋山**  
たけし  
**猛**  
議員

◇行財政改革推進プランについて  
◇教員の現状を把握し適切な対策を

みずの  
**水野**  
よしひろ  
**義裕**  
**議員**

**行財政改革推進プランについて**

昨年12月に公表された推進プランは、今後注視していかなければならないと考えている。今回は主に、基  
本方針1 職員の意識改革・定員管理  
及び給与の適正化について伺う。

**質問** 進捗状況の報告は。

**市長** 17年度分は早期にホームページや窓口で公開する。

**質問** 外部の目を導入しては。

**市長** 情報は公表するので、市民による検証は可能である。現時点では、外部機関による検証の考えはない。

**質問** 人事評価制度改革の日程は。

**市長** 8月に中間案の検討、来年1月に結論を得て、19年度から運用を開始し、20年度から人事や給与の処遇に反映する。

**質問** 5年という嘱託員・臨時職員の雇用期間は、サービスレベルの維持

の点で再検討すべきではないか。

**市長** サービスレベルはマニュアルや引き継ぎなどで維持できると考えており、その考えはない。

**教員の現状を把握し対策を**

学校には残業する教員の姿が常に

羽村市では国際標準化機構（ISO）が制定した環境マネジメントに関する国際規格であるISO14001を取得した。積極的な取り組みは高い評価に値するが、取得時から比較すると社会経済・地域環境が変化していることから、運営・今後の取り組みについて考察すべきと考え、次の

**項目を伺う。**

**質問** ISO14001について現在の取り組み状況は。

**市長** 市役所本庁舎をはじめ市の17の施設で環境に配慮した事務事業に  
取り組み、エネルギー消費の削減、経費の節減等に成果を上げている。

**質問** 認証取得時から運用、マネジ

見られ、かなり忙しいように思う。教員が子ども達と向き合う時は疲れきっていて、充実した授業ができないのではないかと。教育は人間と人間との接触を通して行われる部分が重要であると考えている。

**質問** 教員の忙しさの実態を調査・分析しているか。

**教育長** 文科省が調査しているのでその動向を注視していきたい。

**質問** 教員が子ども達に向き合える時間を増やす工夫をすべきではないか。

**教育長** 学校は努力しているが、安全確保等は学校の対応に限界がある。学校・家庭・地域の役割も明確にしていきたい。

**質問** 事務職員や用務員を臨時職員に転換した影響はどうか。

**教育長** 教育委員会に学校事務担当を設置し指導に当たっており、問題は生じていない。

**質問** 社会人として自立できない若者が増えている。部活動は、学年や学級を越えて育まれる人間関係の中で、自主性、協調性、責任感、連帯感や学校への所属意識を高めると考えるが。

**教育長** 部活動は楽しい学校生活の柱であり、苦楽を共にし、感動や喜びを分かち合うことは何ものにも代え難い貴重な体験である。規律ある行動、我慢することの大切さ、苦勞の向こう側にある達成感を得ること等、意義や効果に大きな力があると考えている。

**質問** 顧問の先生がいないために廃部になる部があると聞く。市内3校



▲市役所事務室内の様子(市民課)